

## 24年度で、子育て・教育に関する予算いろいろ



### 北秋津小学校

・耐震工事を実施する: 24年度中に完了  
1億5,363万6千

・校門に防犯カメラを設置する: 250万

### 南陵中学校

・耐震工事設計をする : 736万5千

・耐震工事は25年度に実施する

\* 南小学校は耐震工事が完了済

\* 荒幡小学校は、耐震を備えた校舎建設をした

\* 25年度中に市内全小・中学校が耐震完了



### 小学校「心のふれあい相談員」復帰

・小学校における不登校児の減少を目指すと共に、中学校と連携し「中1ギャップ」を解消する。相談室登校の児童に対して 学級復帰を支援する

・21年度までであったのを、教育委員会が22年度23年度と廃止したので、私は予算復帰を訴えて来ました。今年度から、藤本市長の強い思いもあり予算化しました

### 保護者が「1日保育者体験」をする事業

156万 (内: 県費が48万5千)

\* 「保育園で、我が子以外の幼児と関わる経験を通して、我が子との関係にゆとりが見られて親子の絆が深められると、好評な事業」今年度は松井和氏が52ヶ所の保育園で保育士、保護者に「施設の保育サービスが進む中で、親の役割をサービスに肩代わりさせずに親が子育ての楽しさを知る」内容の講演をする(埼玉県内保育所の97%が実施している)

### 子ども医療費助成

10億 8,143万1千

対象年齢: 0才~中学3年生

対象: 通院及び入院に係わる医療費無料

対象者数: 約4万2千人

\* 私は「過剰医療」「過剰受診を抑制し、適正受診を周知するよう市に求めています。市も周知に努めています。

所沢市議会が動いています。私は議会運営委員会(=議運)の委員長を1年間努め、議会改革を進めました

### 議員の定数について協議する審議会を設置

・23年10月に地方自治法が改正されて、議員の定数は各自治体で決める事になりました。それまでは34万人の自治体は上限数46名でした。・現在、所沢市の議員定数は36名ですが、36名の根拠もなくなりました。

・議員定数のあり方を所沢市議会として決める事に決定。審議会を設置し諮問しました。委員5人の方が協議をして所沢市に相応しい定数のあり方を答申として出します。

(24年12月までに) 審議委員の方は、

1. 廣瀬克哉氏 (法政大学政治学部教授、所沢市在住)
2. 江藤俊昭氏 (山梨学院大学法政学部教授)
3. 新井喜代子氏 (所沢市体育協会副会長)
4. 渡辺良雄氏 (所沢市地区労元議長)
5. 本橋辰哉氏 (公募した市民の方)

\* 第1回審議会: 5月14日9時半~予定: 傍聴可

お問い合わせ: 議会事務局 電話(2998-9256)

12名の議員による「政策討論会」を実施

・2月4日

・テーマは「地域経済の活性化と所沢ブランドの創造」

・138名の市民が参加

全国25の県市町村議会が、所沢市議会に視察に来ました  
北は「稚内市議会」から、南は「大分県議会」の議員の方々が来ました。説明対応は、ほとんど議運委員長の私と広聴広報委員長の石本市議と行いました。議会基本条例を制定して議会報告会をしたり市民に分かり易い「議会改革」をしていると全国の議会が所沢市議会を評価しています。